

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 〒197-0826牛沼243-9

TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2010.5.16 No.532 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

マンハッタンに響く核廃絶の声

ニューヨーク発・あきる野代表



左から高橋さん、前田さん

5月2日のニューヨークは焼けるような暑さであった。私たちの班は12名がホテル近くのタイムズスクエアで午前中「シグネチュアプリーズ(署名をお願いします)」と折鶴を配りながら署名活動を行った。国連要請のために東京から来たところと進んで署名に応じる人、要請文を全文読んだから署名する人など119人の署名を集めた。昨晩の爆弾テロの現場のため警官が大勢配置されていた



あきる野から4千48人の署名
全国では690万人!

一万人のパレード

の中で行動だが、規制はなかった。ビールを飲んで腹ごしらえしてから集会に参加。ブロードウェイ付近の大通りの片側を長くうめでの集会。ごった返すなか「あきる野9条の会」の幟をあげた途端「しまわれないと没収するぞ」と警官が規制、やむなくたむこととなった。

集会のあと42ストリートを国連に向かって1万人がデモ行進。楽器を鳴らしたり、お面をかぶったり和服姿であったりと思ひ思いのパフォーマンスでニューヨーク市民に核廃絶を訴えて賑やかにパレードした。国連近くの広場に私たちが出ると提出セルモニーが終わって、690万1千377人の署名を入れた箱が積み上げられていた。広場では先にデモを終えた共産党の志位委員長がデモを迎えてくれた。

議長と国連軍縮上級代表が1時間もデモの到着を待ち、署名目録を手渡すと今度は道路封鎖している警官を説得して向かいの広場に入り、署名の山をじつと見据えました。今日のNPT会議開会あいさつで議長は「私は昨日署名を受け取りました。市民社会の熱意に私たちは応えなければなりません」と発言しましたと報告があった。私たちの行動と署名が国際政治を動かすきっかけとなると実感し、ニューヨークへ来て良かったと心から思った瞬間であった。また、20代、30代の青年の参加が多かったことも心強く思った。



全国から集まった署名の山

3日夜、キング牧師がベトナム反戦の演説をしたゆかりのリバーサイド教会で行われた集会で原水協の高草木事務局長から「昨日、国連前でNPT

から4日付の「しんぶん赤旗」をみせられてビックリ。なんと私が写っていた。(前田眞敬記。あきる野市からあきる野原水協代表の私のほか高橋養蔵さん、大谷由美子さんが参加した)

東京土建西多摩支部が
住まいのなんでも相談
を開催

6月6日(日)
10時~15時

福祉と
住モデー

地元建設職人が皆様に専任する一日です!
住まいの相談会も開催します

お申し込みは
042-525-1111

お申し込みは
042-525-1111



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

住まいのなんでも相談/包丁研ぎ/まな板削り/他、楽しい企画がいっぱい用意されています。
お問い合わせ=平沢 550-0704

- あきる野の会場はこちら
- 1 マルダイオート(洲上信号東=洲上224)
 - 2 秋川駅前東急北側広場(秋川4-7)
 - 3 田中建設(花之岡陸橋南=草花1303)
 - 4 スーパー・パーク二宮店(二宮1074)
 - 5 ヤマザキ・かごや(東秋留駅南=野辺853)
 - 6 スーパー・パーク館谷店(館谷241)

あはらし
こともしらし

たばた あずみ

夕方いつもちびが聞きます。「きょうのはんなにー?」これになんと答えても返ってくるのは「えーやだあ。カレーがいい!」で、泣く。夕方ぐずりでもありますが、参ります。いっそちびの分だけカレーにしようかとも思いますが「それはやだー」。母さんだって毎日カレーはやだー。泣きはしないけどやだー。すったもんだの末に夕食が並ぶと、「うわあ、これおいしいねえ」カレーじゃなくてもちゃんと食べます。どうせ食べるんだから、無意味にもめるのはやめてくれないかと思うのですが、そうはいかないみたいですね。試しに毎日カレーだったらどうなるのかなあ。知りたいけど、やりたくない…。 (10.5.16)
連絡先は☎550-6674

井上ひさしさんが亡くなった。私が若いときから愛読した作家で、熱烈な日本共産党の支持者だった▼日本の東北地方に独立国ができるという奇想天外の物語「吾里吉里人」など読んだものだ。井上ひさしさんの経歴が面白い。浅草のフランス座というストリップ劇場の幕引きなどをしながら、ゴント・寸劇を作り、作家、劇作家の基礎を固める▼遅筆で有名で、開演日に間に合わず主催者も本人も大損した話は幾つもあり、本人も「遅筆書」と名乗り、ニヤリとしていた▼遅筆の原因は、物事を徹底的に調べ尽くさないと書かないという性格で、それが原因で完成が遅れることだと知られていく。したがって書き出せば早いし、読者にとって面白い作品となる▼井上ひさしさんが亡くなったのを契機に、まだ読んでいなかった実測の日本地図を完成させた、伊能忠敬を書いた歴史大作「四千万歩の男」を読み始めた。これがまた面白い。大長編なので当分楽しめそうだ。(松)

野良望

三多摩メーデーに7,500人

あきる野の仲間も多数参加!



「普天間基地も横田基地もいらない!」と訴える横田基地撤去を求める西多摩の会みなさん。

晴天のもと、緑の井の頭公園で第八十一回三多摩メーデーが開かれ、国民こそ主人公の政治へと立ち上がる労働者、市民が集会やデモに参加しました。集会では、来賓の日本共産党参議院議員の小池あきらさんが、民主党政権の公約破りを批判、日本共産党の政策を訴え「みんなの力で政治を前に動かそう」と話し満場の拍手を浴びていました。



あきる野の仲間たちの後方から舞台をのぞむ

後援会だより

4月21日 東地区後援会では47名で日帰りバス旅行に

快晴で北アルプスの雪嶺と雪富士が見事な光景でした。奈良井宿では、町並みを散策。午後は「いわさきちひろ美術館」の見学でした。安曇野の田園も懐かしい風景でしたが、平和の願いを込めたちひろさんの絵を展

示する立地が何より相応しく感じられました。くしくも翌々日の新聞で、館長の松本猛さん(ちひろさんの子息)が長野県知事選に立候補する事を知り、嬉しいニュースとなりました。

たばたあずみと歌う会

おまそいあわせておいてください

5月21日(金) 3:00~5:00

(場所) CAFE アカサカ (秋川駅北口) < 駐車場が少し狭いので注意! >

(参加費) 飲み物の代金 700円

主催=南部日本共産党後援会

映画「草の乱」の 5月24日(月) 秩父困窮民を訪ねて

五日市後援会・日帰りバス旅行に

明治17年悪徳金貸しや政府の失政を批判し、貧民救済を叫んで秩父の農民が蜂起。その数一万余とも云う...

ご案内は困窮民隊員の末裔の新井さん(元共産党秩父市議会議員)にお願いました。帰りは秩父まつり会館などを見学します。(他地域からの参加歓迎)

午前8時五日市駅前出発。7時帰帰着。参加費 3千円

申込みは 五味 595-0079 まで

山柳

ハトポツポ腕振って五日まで 新党は想定内と負け惜しみ 沖繩の約束破る鉄面皮 選挙詐欺ここまでやるか民主党

蕎麦湯 蕎麦湯 松籟坊 松籟坊

読者のひろば 投稿

うれしい堀越無罪判決

戦後、多くの知識 直後に高裁の中山隆人が「戦時中が一番 夫裁判長にお礼のハの苦悩は言論の自由 ガキを出しました。がなかったこと」と また、感心するのは、語っている。日本国 堀越さんが判決直後憲法第二十一条(表現 に支援者に語った言の自由)は民主主義 葉です。「憲法がある社会の要と思います。から無罪しかありえない」と思い続けて六年 先月末に出た高裁 年経りました」

「堀越さんのピラ配 それほど日本国憲布を有罪にすると憲 法は為政者の手をし法第二十一条に違反す ばり、私たち国民の生活を守る大事な宝物」と思います。

私は嬉しくて判決 渡辺 照美

★投稿歓迎 三〇〇字前後 エッセイやご意見等なんでも。

歴史探訪

第112回 **地名考・養沢①**

あきる野市の北西部に位置し大きな面積を持つ山岳・丘陵の地域です。面積が十四、〇六km²と戸倉とほぼ同じです。養沢と戸倉二つの地域で市内の面積の38.4%を占めていますので、如何に広いか大きさが程が分かります。地形の関係で当然面積に対する人口比は少なく、世帯数一九、人口三〇〇です。

戸倉の十里木交差点を北西に進む街道(養沢道)があり、落合橋を渡った地域が乙津、更に北上し右手の熊野神社・薬師堂が養沢です。この街道沿いの深谷に養沢川が流れています。養沢川の水源は御岳山と大岳山に発していますが、御岳山・大岳山が養沢神社付近で会い養沢川となります。南流し乙津の落合で秋川に合流します。川と街道に沿って人家が集落となって散在し神社・寺も多く見られます。北上すると大岳鍾乳洞と三つ合鍾乳洞の二つの鍾乳洞に出会います。大岳鍾乳洞の北側にある養沢神社から西へ向かう山道は大岳山へ向かいます。昔の行者は更に御岳山を通り多摩川を渡り、秩父へ向かい寺々を巡り修行行脚をしたといいますが、今ではさへ困難な山道は、昔はどれ程の険しさであったか想像できます。逆に云えばこうした全国津々浦々の山道は修験者たちによって切り開かれたといつてよいと思います。

草花・木崎秀治 (続く)

俳句

花は葉に法具それぞれ六地藏 (淑子)

若葉萌ゆ山を背に立つ天竜寺 (静子)

田の畦に土筆のこの顔を出し (るり子)

花は葉に寺の堂の光りけり (勝代)

青き藻の天水桶に落花あり (照代)

残る花戦火の幹を太くする (かほる)

山門に戦の影や春風 (富)

花冷の襟元重ね二人旅 (和恵)

鐘楼の四方のしめ縄雲雀東風 (つや)

ちひろ絵の子の眼清し閑古鳥 (秀治)



養沢道・本須バス停